

有馬川(高津区久末)・水路における浸水対策に関する説明会

高津区役所道路公園センター整備担当

川崎市建設緑政局道路河川整備部河川課

- ・ 有馬川と水路の概要
- ・ 下水道整備による雨水対策
- ・ 令和7年9月11日の大雨・冠水状況
- ・ 令和7年9月11日の水位上昇による有馬川・水路・道路との関係
- ・ 浸水対策の取組1
- ・ 浸水対策の取組2（フラップゲート）
- ・ 大雨時の対応について
- ・ 今後のスケジュール

有馬川と水路の概要

1 有馬川の概要

- 有馬川は宮前区鷺沼付近を起点に横浜市との行政境付近を流れ、高津区野川付近で矢上川に合流する河川です。
- 河川延長約5.1kmのうち、起点から約1.5kmが普通河川(市管理)、約3.4kmが準用河川(市管理)、約0.2kmが一級河川(県管理)となっており、流域面積は約5.3km²です。
- 既設護岸を活用しながら、河床掘下げや護岸整備等の改修を進め、昭和60年度までに時間雨量50mmの降雨が生じてても水が溢れない河川として整備されました。

<有馬川と矢上川の位置関係>



2 水路の概要

- 水路は、中原街道の久末交差点付近を起点として、有馬川に接続しています。過去には有馬川から水を引き、農業用水などの利水施設として利用されていましたが、都市化の進展に伴いその役割を終え、現在は雨水排水のための水路として利用されています。
- 水路延長約623m、流域面積0.34km²
※流域: 雨水や地下水などが集まり、最終的に水路へ流れ込む範囲

<有馬川と水路の位置関係>



下水道整備による雨水対策

下水道整備による雨水対策

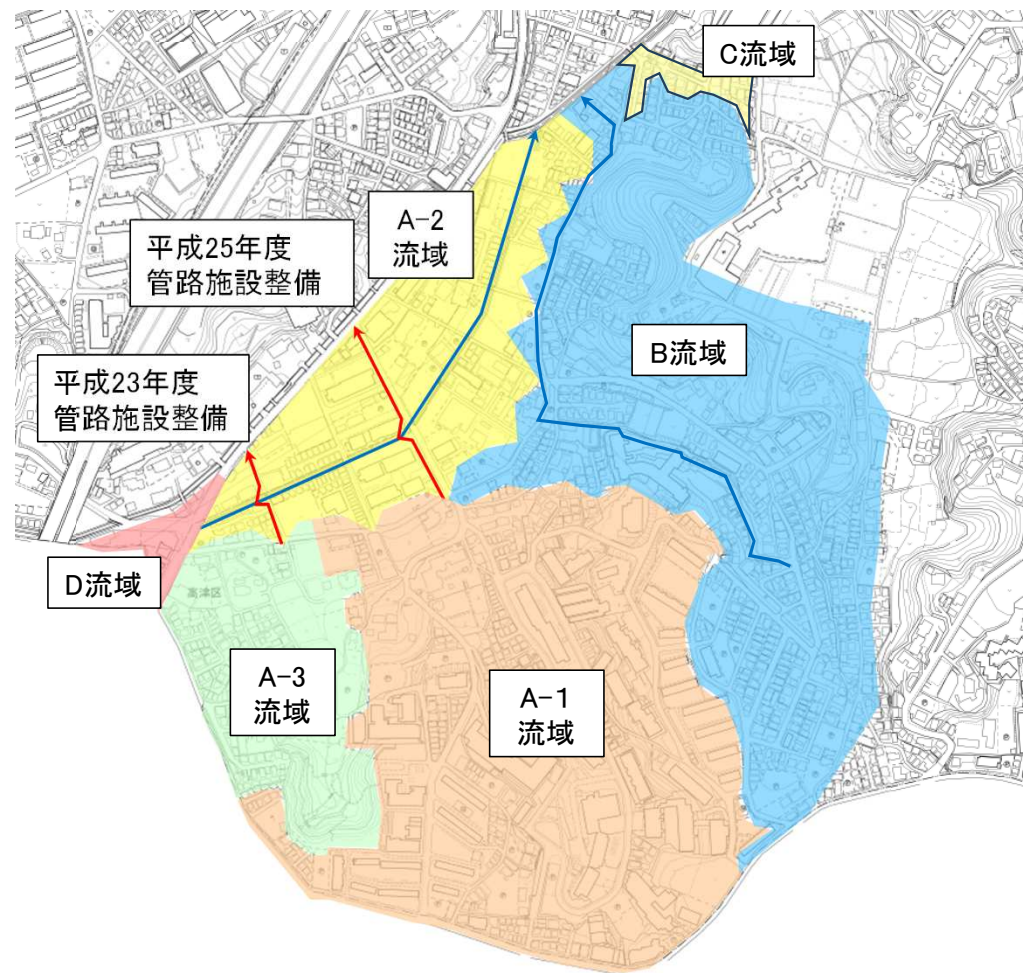
●当該地区は、高台地域と低地地域に分かれた地形となっており、その境界部および低地部を流れる2本の水路が有馬川に合流しています。このため、集中豪雨時には県営久末アパートや市営久末団地などの高台地域から流出した雨水が水路に集中しやすい状況となっていました。

そこで、水路への流入量を減らすため、有馬川へ直接排水する2系統の雨水管を整備しました。

- ・平成23年度 内径1,000mm、延長約110mの雨水管整備
- ・平成25年度 内径1,500mm、延長約220mの雨水管整備

この整備により、A-1流域およびA-3流域の雨水を有馬川へ直接排水できるようになり、低地部への雨水流入の抑制を図っています。

＜雨水対策による下水道整備箇所及び下水道と水路の流域＞



令和7年9月11日の大雨・冠水状況

令和7年9月11日の大雨・冠水状況

- 高津区、中原区、宮前区を中心に時間雨量が100mm近くの非常に強い雨が降りました。
- 有馬川上流の有馬地区では13時50分から降雨が強まり、東野川観測所では有馬川の水位が急激に上昇しました。
- 久末地区では、有馬川の水位が上昇している状況の中、14時30分からの1時間で100mm近くの雨が集中して降り、記録的短時間大雨が発生しました。

<近隣地域の時間雨量>



<10分雨量と有馬川水位>

R7.9.11	10分雨量(mm)		水位(m)
	有馬	久末	有馬川
観測所	宮前DKC	久末小	東野川
13:40	3.0	2.0	0.00
13:50	15.5	8.0	0.55
14:00	18.5	7.5	0.96
14:10	9.0	1.0	2.39
14:20	22.0	4.0	2.93
14:30	12.0	10.0	3.50
14:40	13.5	22.0	3.68
14:50	4.0	22.5	3.62
15:00	4.0	13.0	3.45
15:10	8.5	16.0	3.14
15:20	3.5	12.5	3.20

黄色 : 時間換算で50mm/hr以上の雨

写真 道路の冠水状況(市道久末196号線)



写真 水路の冠水高さのイメージ



- この大雨により、水路および市道久末196号線周辺で冠水が発生しました。冠水深さは、水路沿いで約75cm、市道久末196号線で約90cmに達していることが確認されました。

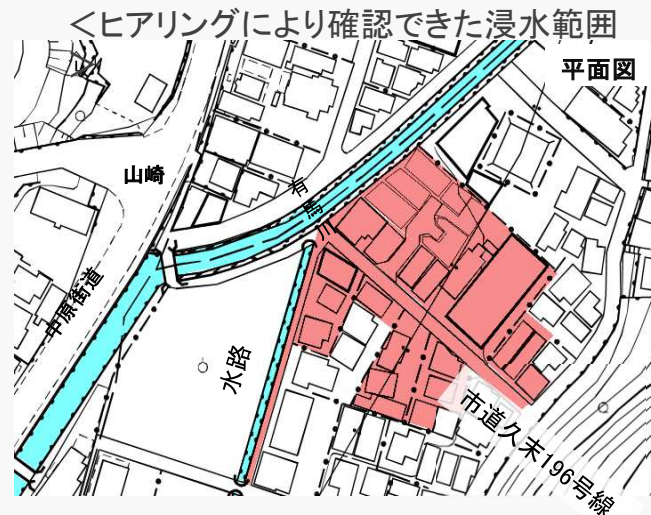
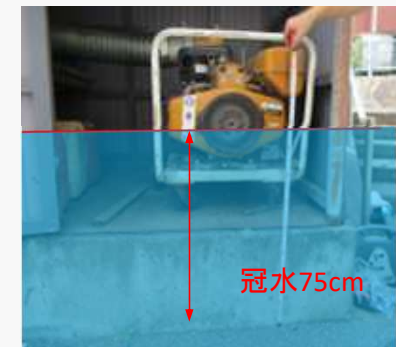
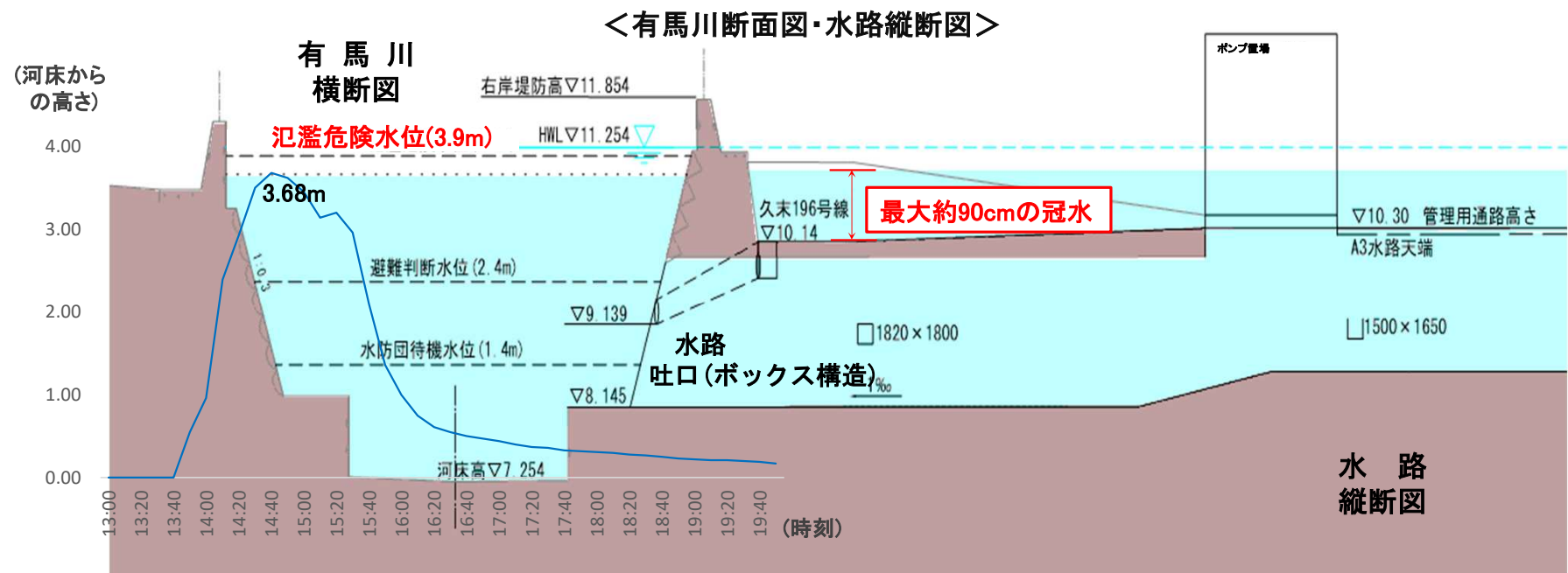


写真 ポンプ置場の冠水高さ



令和7年9月11日の水位上昇による有馬川・水路・道路との関係

令和7年9月11日の水位上昇による有馬川・水路・道路との関係



●大雨により有馬川の水位は13:40頃から急激に上がり始め、14:40頃には氾濫危険水位近く(3.68m)まで水位が上昇しました。

【令和7年9月11日の水位の状況】

- 有馬川の水位が接続する水路の吐口高を上回ったことにより、水路から河川への自然排水が困難な状況となりました。また、有馬川の水位上昇に伴い、接続する水路の水位も連動して上昇し、河川水の逆流が発生したことで、水路内の水位がさらに上昇し、溢れたと考えられます。
- 有馬川の水位が市道久末196号線等の地盤高を上回るまで上昇したことにより、道路側溝と有馬川を接続する排水管から河川水が逆流しました。また、有馬川の水位の影響により道路側溝の排水機能が低下したため、降雨による雨水が排水されにくい状況となりました。さらに、市道久末196号線は周辺地域と比較して地盤が低く、雨水が集まりやすい地形であることから、道路上に水が滞留する状況となりました。

浸水対策の取組 1

直近の取組

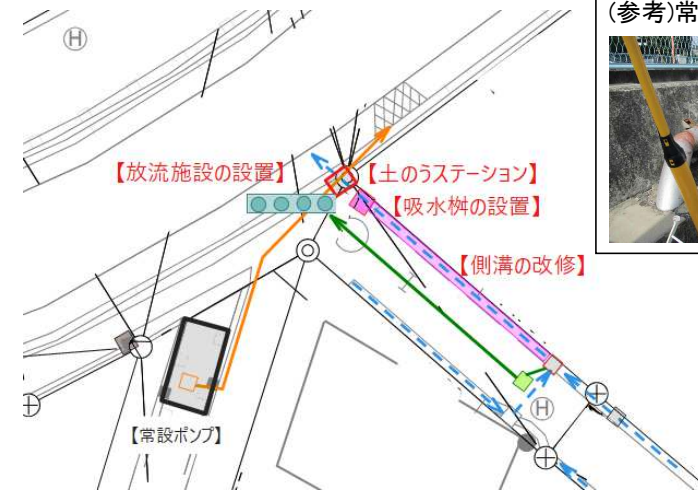
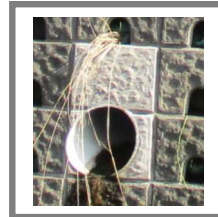
① 小型フラップゲート(逆流防止扉)設置(令和7年10月)



【対策内容】

道路側溝に接続する排水管の排出口に小型フラップゲート(逆流防止扉)を設置しました。

有馬川の水が道路側溝へ逆流することを防ぎます。



今後の取組

(参考)常設ポンプの排出箇所



① 移動式ポンプの購入



② 土のうステーション(イメージ)



③ 放流施設の設置(イメージ)



④ 吸水桧の設置(イメージ) 側溝の改修(イメージ)



【対策内容】

常設ポンプを更新するとともに、設置位置の嵩上げを実施しました。ポンプ設備に対する冠水を防止します。

①移動式ポンプを購入します。

②大雨時に備え、土のう置場を設置します。

③④移動式ポンプにより円滑に排水するため、施設の改修を行います。

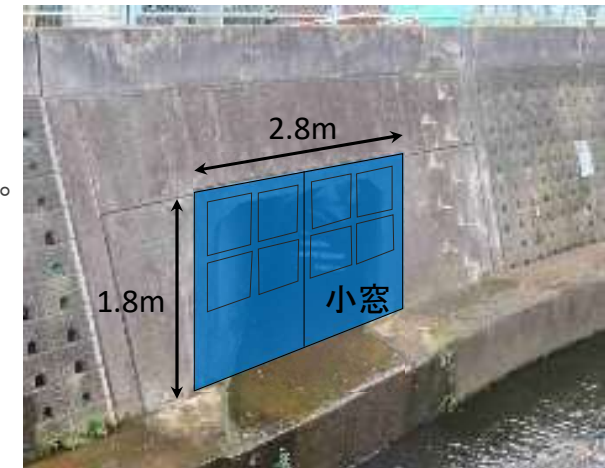
浸水対策の取組 2（フラップゲート）

今後の取組

【対策内容】

- 有馬川からの逆流を防止するため、有馬川と水路の接続部にフラップゲートを設置します。フラップゲートは、水圧により自動的に開閉する逆流防止設備であり、平常時は水路内の水を有馬川へ排出し、有馬川の水位上昇時には閉鎖することで河川水の逆流を防止します。また、小窓付きフラップゲートを採用することで、河川水位が一定程度上昇した状況においても排水を継続できるため、水路内の雨水排除機能の向上が期待されます。さらに、河川水位が高くなった際には小窓も閉鎖され、逆流を防止します。

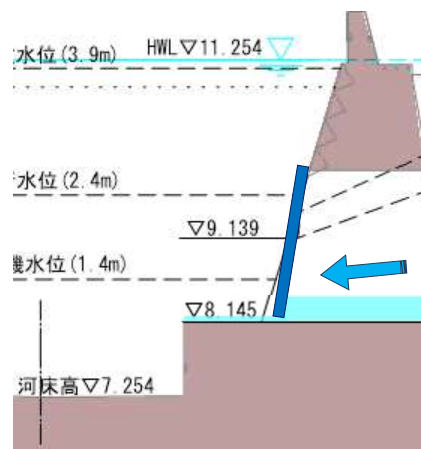
＜フラップゲートの設置（イメージ）＞



【フラップゲートの仕組】

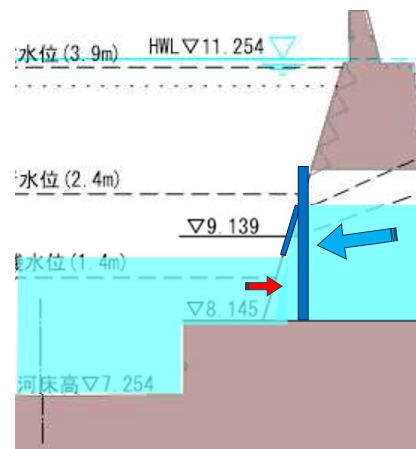
- 有馬川と水路の水位差に応じて、フラップゲートが自動的に開閉します。

【平常時】



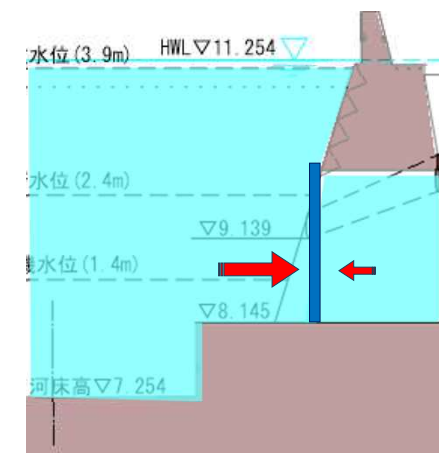
雨が降っておらず、水位が低い場合は、ゲート全体が開きます。

【降雨(低水位)】



有馬川の水位が上がると小窓が開きます。

【降雨(高水位)】



有馬川の水位が水路の水位を超えるとゲート全体が閉じます。水路内の水をポンプで排水します。

大雨時の対応について

大雨時の対応について

【冠水の警戒及び現場出動時の判断】

- 天気予報や市の危機管理本部から共有される降雨予測をもとに、今後の気象状況を把握します。
- 予報をもとに、雨雲レーダーやカメラを活用して水位を遠隔監視し、その動向を注視します。
- 時間雨量や水位状況により出動の判断を行います。
 - ・大雨警報等発令の状況
 - ・降雨の状況
 - ・有馬川の水位状況

【常設ポンプ・移動式ポンプの稼働】

- 出動後は現地の状況を確認し、常設ポンプの稼働準備を行います。また、有馬川と水路の接続部に設置するフラップゲートによる逆流防止対策に加え、降雨時における内水への対応を補完するため、移動式ポンプを配備し、必要に応じて排水作業を実施できる体制を整えます。

＜台風6号(令和8年6月3日)での移動式ポンプ設置状況＞



【夜間・休日の対応】

- 夜間・休日において、台風等の接近が予測される場合は、動員が発令されるなど、事務所で待機しているため、職員が対応します。
- 一方、夜間・休日において、ゲリラ豪雨等の突発的な降雨が発生した場合は、職員が事務所に不在であることも想定されるため、市の契約業者の手配を行っていきます。

【市民との連携(ポンプ運転)】

- ポンプは、市職員及び市の契約業者による運転を基本とします。しかしながら、市民の要望やゲリラ豪雨等の発生時に職員が直ちに対応できない場合に備え、周辺住民の協力を得られる体制について検討します。
- 具体的には、ご協力いただける周辺住民を対象に事前のポンプ運転訓練やポンプ保管場所の鍵の管理方法について調整します。

今後のスケジュール

今後のスケジュールについて

項 目		内 容	R7年度		R8年度				R9年度				R10年度以降			
			10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
短期対策	対策済	小型フラップゲート設置	➡													
	対策済	常設ポンプの更新等		➡												
	対策1	移動式ポンプの購入				➡										
	対策2	土のうステーションの設置					➡									
	対策3	放流施設の設置工事						➡								
	対策4	吸水桧の設置・側溝の改修工事						➡								
中期対策	対策	フラップゲート設置工事					➡									
長期対策	抜本対策	排水処理の検討	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	➡
大雨時の対応		常設ポンプ・移動式ポンプでの対応	➡													